



# 白熱灯ダウンライト

(天井埋込み専用、一般屋内用、ユニバーサル、電子トランス別置)

ご使用になられる前に必ずお読みください

YA1-013

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書いてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

## 仕様

品名	適合電球	取付可能天井厚	適合電子トランス
DE-2541	EZ10 JR12V35W/K3まで ローボルト前面ガラスダイクロイックミラー付きハロゲン電球φ35	5~25mm	TG-106 B (別売品)
DE-2543	EZ10 JR12V50W/K5まで ローボルト前面ガラスダイクロイックミラー付きハロゲン電球φ50		

### この取扱説明書のマークについて

- 警告** 説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険をしめします。
- 注意** 説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険をしめします。
- !** このマークのついている説明文は必ず守ってください。
- ⊘** このマークのついている説明文は特に注意してください。

## 取り付け・取り扱い上の注意

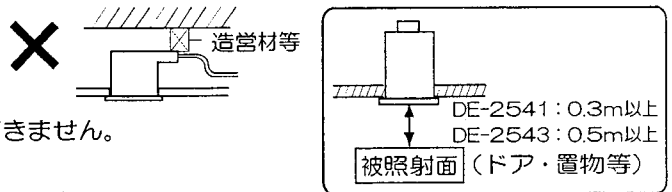
### 警告

取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書及び本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。  
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具の落下による「けが」の原因となります。

適合電子トランス（別売品）の電源端子の送り容量は最大で10Aです。必ず10A以内で使用してください。  
★最大容量を超えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因になる場合があります。

器具の開口面と照射する物（被照射面）との距離はDE-2541：0.3m、DE-2543：0.5m以上離して設置してください。  
★被照射物の変形や、焼損事故の原因となります。

器具の取付部以外の外郭（可動範囲含む）が、天井内の造営材や空調ダクトなどの設備に触れないように施工してください。  
★異常加熱による焼損事故の原因となります。



一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。  
★感電事故や漏電の原因となります。

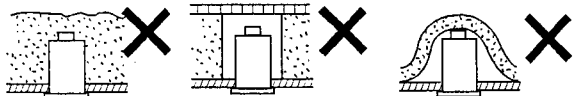
天井埋込み専用です。壁面など天井以外の場所や傾斜天井には設置できません。  
★異常過熱による熱損事故の原因となります。

—住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法—

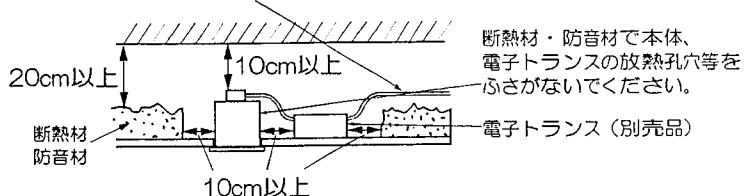
住宅の断熱施工天井には使用できません。

★ブローイング工法、マット敷き工法の天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。

ブローイング工法      マット敷き工法



電気配線は断熱材・防音材の上側にくる様に配線してください。（器具本体、電子トランスに電源線を接触させないでください。）



温度の高温なるもの（ガスレンジやエアコンの吹出し口）の近くに設置しないでください。  
★異常過熱による火災の原因となります。

器具の改造、部品の組み替えはしないでください。  
★感電や漏電の事故、故障の原因となります。

### 注意

AC12V専用器具です。必ず適合電子トランス（別売品）を使用してください。  
★指定の電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因になることがあります。

この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。  
★過熱して発煙や火災の原因となります。

調光器（ライトコントロール）との併用をする場合には、必ず当社指定の適合調光器を使用してください。（適合調光器の型式は別売品電子トランスの取扱説明書に記載されています。）

★不適合な調光器を使用するとチラツキなどの不具合が発生する原因となります。  
調光卓などで集中コントロールする場合には、山田照明営業窓口までお問い合わせください。

## 使用上の注意

### 警告

- ❗ 必ず指定された電球を使用してください。  
★不適な電球を使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。  
そのまま無理に使用続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。
- 🚫 濡れた手で触らないでください。  
★感電の原因となります。
- 🚫 器具の下面を布などで覆わないでください。  
★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- 🚫 器具の改造、部品の組み替えはしないでください。  
★感電や漏電などの事故、故障の原因となります。
- 🚫 ドライバーなど異物を差し込まないでください。  
★感電事故の原因となります。

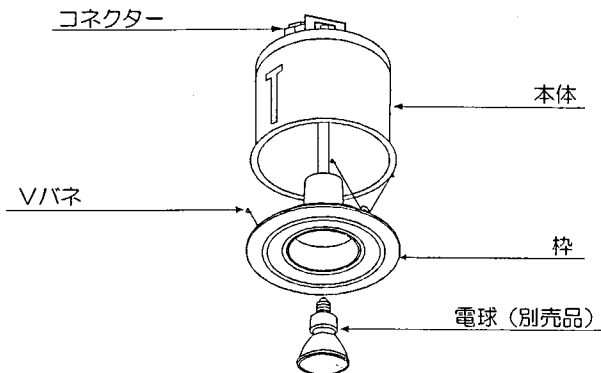
### 注意

- 🚫 器具そばでストーブなど発熱するものを使用しないでください。  
★異常過熱による、火災の原因となります。
- 🚫 カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。  
★カバーの破損、落下の原因となります。
- 🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。  
★変色や材料の変質によるヒビ割れなどの原因となります。
- 🚫 点灯中や消灯直後の電球、器具の内側には触らないでください。  
★火傷の原因となります。

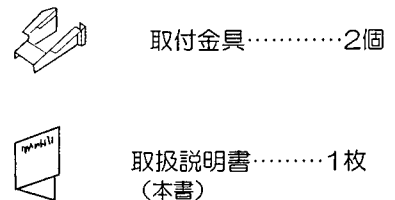
## 各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)  
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業窓口までご連絡ください。)

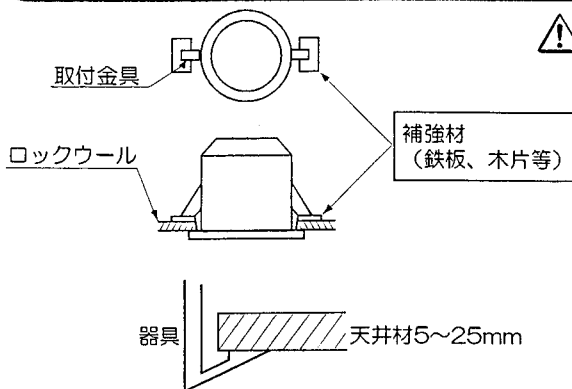
### 【器具構成図】



### 【付属品】



## 取り付け場所の確認



### 警告

❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。  
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。  
ロックウールなど柔らかい材料を使用している天井に取り付ける場合には、必ず取付金具と天井材との間に補強材(鉄板、木片等)を入れてください。

★補強材を入れないと枠と天井の間に隙間ができる原因となります。

取り付け可能な天井厚は『5mm~25mm』です。  
★指定の厚み以外の天井には取り付けができません。

## 取り付け方

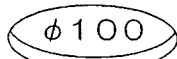
### 注意

●必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

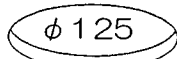
- ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。  
★取り付けに不備があると器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。  
電子トランスは、必ず当社別売品(TG-106 B)をご使用ください。  
★TG-106 B以外のトランスを使用した場合、コネクターの形状が異なり器具との接続ができない場合や電球のちらつきなどの原因となります。  
(TG-106 B以外のトランスをご使用しての不具合につきましては、責任を負いかねます。)

- 器具を取り付ける前に
  - ・器具重量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保してください。
  - ・枠を本体からはずしておきます。

DE-2541の埋込み穴寸法



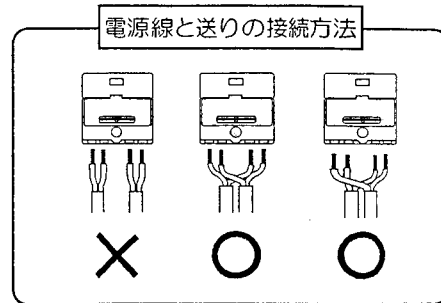
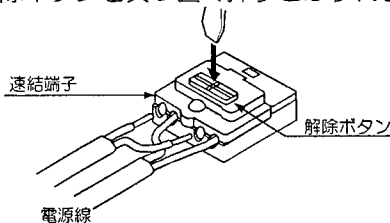
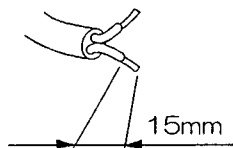
DE-2543の埋込み穴寸法



1・天井に埋込み穴を開けます。

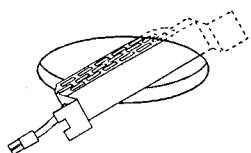
2・電源線を適合トランス(別売品:TG-106 B)の端子に接続します。

- ①被覆を剥き、電源線を連結端子のゲージ(15mm)に合わせます。
- ②電源線を電源線差込穴に差し込みます。  
※電源線をはずす場合は、ドライバーの先で解除ボタンを真っ直ぐ押しとはずれます。



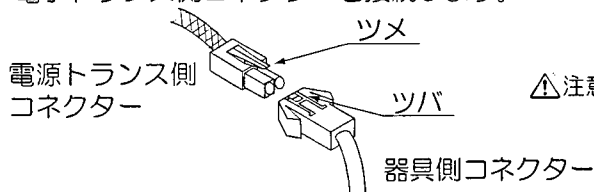
- ⚠警告 ① 電源電線には必ずVVFφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。  
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。
- ② 結線の際、電源線が器具本体に触れないように処理してください。  
★器具本体と電源線が直接接触すると熱による絶縁被覆の劣化を招きます。

3・電子トランス(別売品)を天井内に設置します。



- ⚠注意 ① トランスを天井内で横転状態にしないでください。  
★放熱口がふさがれ、故障の原因となります。
- ② 断熱材で覆わないでください。  
★放熱口がふさがれ、故障の原因となります。
- ③ 音響装置の近くやアンテナ、アース線などからは2m以上離して設置してください。  
★音響装置などに、雑音が入る原因となります。

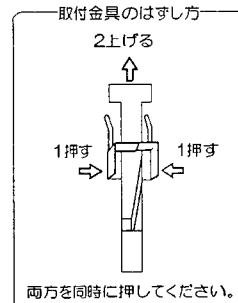
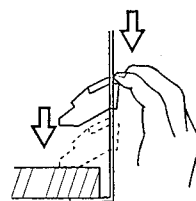
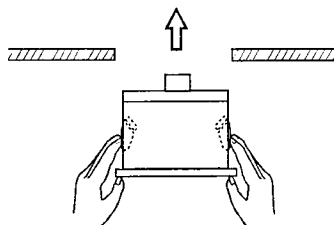
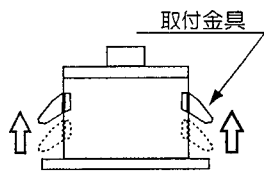
4・電子トランス側コネクターを接続します。



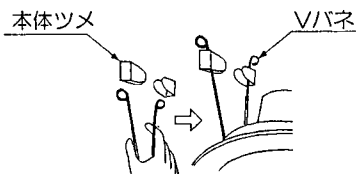
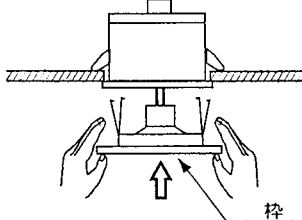
- ⚠注意 電子トランス側コネクターのツメを器具側コネクターのツバに、確実に引っ掛けてください。

5・本体を天井に取り付けます。

- ① 取付金具を上にはずします。
- ② 取付金具を押さえながら天井内に挿入します。
- ③ 器具の枠を天井面に押し当てながら取付金具を引き上げます。

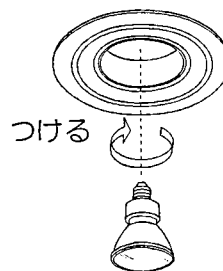


6・枠を本体に取り付けます。  
Vバネを本体のツメに引っ掛け押し上げます。



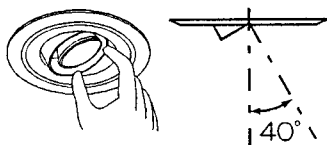
- ⚠注意 Vバネが本体のツメにしっかり引っ掛かっていない場合、落下する場合があります。

7・電球(別売品)を取り付けます。

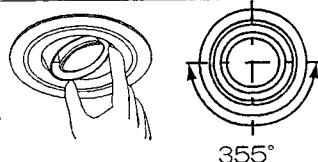


8・照射方向を調節します。

- 鉛直方向  
灯具の縁をもち照射角度を調節します。



- 水平方向  
灯具を持ち、枠を回して灯体の向きを調節します。



- ⚠注意 ① 点灯中は高温となり火傷の原因となりますので手袋(布製)等をご使用の上調整してください。
- ② 回転範囲以上無理に回転させないでください。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

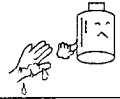
## お手入れについて

**△注意** 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

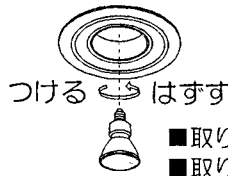
## △注意

- 電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。  
★感電の事故の原因となります。
- スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。  
★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- 電球は乱暴に扱わないでください。★電球が割れてけがをする恐れがあります。
- 適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。  
★不適合な電球を使用すると、不点灯や点灯不良（チラツキや立ち消えなど）の原因となります。また異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。  
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。



## ◆電球の交換

1. スイッチを切ります
2. 下面から手を入れて電球を交換します。



- 取り外し：左へ回す。
- 取り付け：右へ回す。

3. 照射方向を調整します。  
裏面の『取り付け方』の「8.照射方向を調整します。」の項をご覧ください。

## △注意

- 電球は高温になりますので、点灯中・消灯直後は触れないでください。
- ★火傷の原因となります。
- 適合電球以外は、取り付けできません。必ず器具に表示されている電球をご使用ください。
- ★異常過熱などによる事故、故障の原因となります。
- 電球のガラス部を強くねじらないでください。
- ★電球が割れて「けが」の原因となります。

## ◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。



## ◆こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じたときには、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない	電球は確実にセットされていますか。 電球が切れていませんか。新しい電球と交換してみてください。
電球がすぐ切れてしまう。	●天井内の断熱材、遮音材は器具から離して設置されていますか。 (この器具は断熱材・遮音材で覆っての使用はできません。)
殺虫剤などの薬品をかけてしまった	スイッチを切り、水に浸した布を固く握って、薬品を充分拭き取ります。

- ★ダウンライトの交換については、販売店もしくは、最寄りの山田照明営業窓口にご相談ください。
- ★該当項目をチェックしても、症状が改善されない場合には、最寄りの山田照明サービス受付窓口までお問い合わせください。

## ■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください。）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店もしくは山田照明サービス受付窓口にご相談ください。